第 47 回 X 線材料強度に関するシンポジウム開催報告[†]

柴 野 純 一^{*} 八 代 浩 二^{**}

Report on “The 47th Symposium on X-ray Studies on Mechanical Behavior of Materials”

by

Jun-ichi SHIBANO^{*} and Koji YATSUSHIRO^{**}

X 線材料強度部門委員会の主要企画事業である「X 線材料強度に関するシンポジウム」の第 47 回目が、平成 25 年 7 月 18 日(木)、19 日(金)の両日に亘って国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催された。本シンポジウムは主に京都の材料学会を会場としてきたが、近年は関東圏在住の当部門委員の利便性にも配慮して関西と関東で交互に行っている。今年は関東開催となり、明治神宮や代々木公園に隣接する会場が選ばれた。会場までは明治神宮境内を歩いて行くこともでき、両側を大樹に囲まれた散策路では暑夏の中、ひとときの静寂と涼感を楽しめた。

今回のシンポジウムは全講演数が 27 件で、例年に比べやや少ない申し込みであった。内訳は、第一日目に二次元検出器を用いた測定法の開発に関する講演が 3 件、中性子、粗大結晶粒、白色 X 線をキーワードとした測定法開発が 3 件、単結晶の損傷評価やひずみ・応力測定が 3 件、薄膜の応力や粒径評価が 3 件、溶接部材のひずみ・応力評価や応力その場測定に関する講演が 3 件であった。翌二日目は実材料に対するさまざまな手法による応力・ひずみ評価が 6 件、微視組織や微視構造解析が 3 件、そして複合材料や二相材料の応力測定に関する講演が 3 件であった。測定法については複数使用も個別にカウントすると、実験室 X 線法が 13 件、放射光法が 6 件、中性子法が 5 件、電子線後方散乱回折法が 3 件、顕微ラマン分光法が 2 件であった。二日間で延べ 66 名の参加者(図 1)により活発な質疑応答がなされ、講演時間の 20 分を超過することが多かった。

本シンポジウムでは若手の研究奨励を目的に優秀発表賞を設けているが、昨年から正会員の参加者全員から評価を頂いて受賞者を決定することとした。今年度の対象者は 14 名であり、緊張しながらも研究成果を堂々と発表し厳しい質問にもなんとか答えようと真摯に対応していた。審査結果は 10 月の部門委員会最終決定し、12 月に授賞式を予定している。

第一日目の夕方には、施設内にあるレストラン「さくら」にて懇親会を開催した。参加者は学生 1 名を含む 32 名であった。懇親会は、昨年の優秀発表賞受賞者でもある辻明宏君(大阪大学大学院)による乾杯で始まった。宴もたけなわとなったところで本委員会の発展に長年貢献されてきた 60 歳以上の委員の方から近況も含めスピーチを頂いた。小木曾克彦さんは研究生活から引退後は海

外旅行や登山を楽しみながらも当部門を常に気にかけて頂き、本シンポジウム講演概要集にも費用を負担し広告を掲載下さっている。井上靖雄先生は、当部門に育てて頂いたと感謝の言葉を口にされた。我々の方こそ先生にはたいへんお世話になった。吉岡靖夫先生は久しぶりに懇親会にお越し下さった。先生は出席者の多くがまだ生まれる前の第 1 回のシンポジウムから参加されている。シンポジウムは自分の研究成果発表の場であると同時に、皆さんがいち早く取り組んでいる最先端の研究を知る貴重な場でもあったと回想されていた。それはシンポジウム開催意義の一つでもあり現在も変わらない。田中啓介先生(図 2)は、X 線材料強度分野に新しいことが出てくるとわからないことも出てくるので、それを追及することがとても面白いといまだ衰えぬ研究者魂を示された。研究、趣味、世間話と歓談の輪が尽きなかった懇親会も吉岡先生の一本締めでお開きとなった。

最後に、講演された方々、広告を掲載頂いた装置関連メーカーの皆様、シンポジウムの運営に協力頂いた学生諸君、そして学会本部事務局の今井様、船越様にはたいへんお世話になった。この紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

図 1 シンポジウム会場と参加者

図 2 懇親会における田中啓介先生のスピーチの様子

[†] 原稿受理 平成 25 年 7 月 26 日 Received July 26, 2013 ©2013 The Society of Materials Science, Japan

^{*} 正 会 員 北見工業大学工学部 〒090-8507 北見市公園町, Dept. of Mech. Eng., Kitami Inst. of Tech., Koen-cho, Kitami, 090-8507

^{**} 正 会 員 山梨県工業技術センター 〒400-0055 甲府市大津町, Yamanashi Prefectural Industrial Tech. Center, Ohtsu-machi, Kofu, 400-0055